

平成29年度

小高中学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 末永公美子

1 学校図書館の概要

学校の紹介

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、小高中学校は6年間、鹿島区に仮設校舎を置いていたが、平成29年4月より小高区の本校舎へ戻った。

平成29年度生徒数

1年	2年	3年	合計
13名	25名	28名	66名

(平成30年3月末時点)

学校派遣日数 木・金曜日 週2回

図書担当教員 中野智美先生

学校図書館蔵書数(4月当初) 3,543点

今年度受入冊数(3月末時点) 774点

うち 市費購入冊数 160点(219,730円)

うち 寄贈資料 614点

2 平成29年度の課題及び目標

課題1 本校舎での新しい図書室がスタートするため、できるだけ早く環境を整える。

課題2 情報の発信。

仮設校舎では教室のすぐ前に本棚があり、本が身近であった。距離があることで仮設校舎のときと比べて生徒の利用が少なくなることが予想される。図書室へ呼び込むための工夫を考える必要がある。

課題3 電算システムの導入。

目標1 4、5月中に図書室での利用環境を整える。

目標2 図書便りのほかに情報を発信する方法を図書担当の先生と相談する。

目標3 電算システムの準備と告知を丁寧に行い、新しい環境に対して出来る限り混乱が無いように努める。

3 活動の方針

教育計画に基づきスケジュールを作成。環境の整備と情報の発信を重点的に行う。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	生徒図書委員活動内容	市立図書館との連携
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算検討と管理の確認 ・ 担当の先生との打合せ ・ 先生向け図書便り発行 ・ 生徒向け図書便り号外作成 ・ 図書室利用に関するオリエンテーション（1～2年生） ・ 学級文庫開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期図書委員会 ・ 学級文庫開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館支援員会議 ・ 学校司書との打ち合わせ（月1回程度、～3月）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書室利用に関するオリエンテーション（3年生） ・ 購入図書の選書支援① ・ ほけんしつ文庫開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級文庫入替 ・ 専門委員会 ・ 新刊購入アンケート実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブックトーク研修
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入図書の選書支援② ・ 先生向け図書便り発行 ・ ほけんしつ文庫入替（～3月） ・ 電算化作業（～12月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書便り第1号発行 ・ 学級文庫入替 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電算システム研修（学校教育課主催）
7月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級文庫入替 ・ 図書便り第2号発行 ・ 夏休みの本の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライブラリーレター配布
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生向け図書便り発行 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 電算システム研修（学校教育課主催）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画展示「本と音楽」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級文庫入替 ・ 図書便り第2号発行 ・ 前期図書委員会（前期反省） ・ 後期図書委員会 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入図書の選書支援③ ・ 先生向け図書便り発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級文庫入替 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書祭り ・ 企画「ミステリー小説特集」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級文庫入替 ・ 図書便り第3号発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郡山市学校図書館視察研修
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画展示「冬本」 ・ 図書便り号外発行 ・ 先生向け図書便り発行 ・ 電算システム運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級文庫入替 ・ 生徒会専門委員会 ・ 冬休みの本の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライブラリーレター配布 ・ 学校図書館活用教育講演会（学校教育課主催）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本おみくじ開催 		
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ バレンタイン特集 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級文庫入替 ・ 後期図書委員会（後期反省） 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほけんしつ文庫入替 ・ ほけんしつ文庫回収 ・ 図書便り号外発行 ・ 先生向け図書便り発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書便り第4号発行 ・ 学級文庫回収 	

4 年間の活動内容

1年間の活動記録

《基本業務》

書籍、CD、雑誌の受入・装備・配架 寄贈本の受入・装備・配架 書架整理 季節の飾り付け
学校のホームページ内「図書室たより」の記事の更新

4月

- ・東校舎の2階に教室が集中するため、同じ階の学習室の廊下の壁を、図書室の広告用に使用。
- ・今年度から学級文庫とほけんしつ文庫を開始する。蔵書数が少ないことと、より幅広いジャンルの本を手にとれるようにするため、学級文庫の選書は学校図書館支援員が行うことにした。
- ・先生向け図書便り（年度初め号）を作成、配付。2か月に1度発行することにした。
- ・貸出カードの仕様、学級文庫、貸出の開始時期、新入生のオリエンテーションについて図書担当の先生に相談。
- ・A4サイズで生徒一人ひとりに貸出カードを作成。電算システム導入後はクリアファイルに生徒のバーコードを貼り付け、3年間そのまま使用できるようにする。

《オリエンテーション日程》

1年1組→4月20日、2年1組→4月25日、3年1組→5月10日

新校舎での活動が初めてになるため、全学年にオリエンテーションを行うことにした。1年生は利用案内をメインで行い、2、3年生には図書室クイズを実施した。オリエンテーションが終了した学年から貸出の利用を開始する。

- ・春休み中に長テーブルを搬入。
- ・企画コーナー「映像化作品特集」設置。資料数20冊。



写真1 ダンボールで作った
マガジンスタンドは強度も十分

5月

- ・段ボールでマガジンスタンドを作る。(写真1)
- ・2階学習室の掲示板に、雑誌の新作案内を設置した。特集などを書き出して貼り付け、最新情報には「新着」と表示をつけた。(写真2、3)



写真2
雑誌の新着表示を
通路に展示

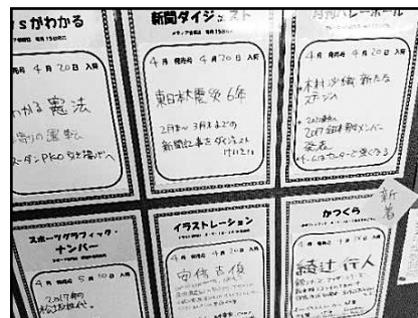


写真3
一目で分かる
工夫を行った

- ・3年生オリエンテーション。
- ・1学期中に、東京杉並ロータリークラブから寄贈図書496冊が入荷するため、装備用品、背ラベルの準備をする。

- ・新しい本棚4台設置。背中合わせにして設置した。(写真4、5)



写真4 4月1日時点の図書室の様子



写真5 本棚設置後の図書室の様子

- ・その日の新聞の注目記事を紹介するボードを作り、入り口のドアに設置した。気になる記事の見出しを3つほど紹介。
- ・生徒へ購入図書の希望アンケートを取る。

6月

- ・図書委員作成の図書便り第1号発行。
図書便りで紹介した本の特設コーナーを設置する。
- ・購入図書の生徒のクエストを集計。
- ・企画コーナー「歴史・時代小説特集」設置。資料数13冊。
(写真6)
- ・購入図書の選書支援2回目「生徒リクエストメイン」。
- ・先生向け図書便り第2号作成、発行。
- ・全国学校図書館協議会による東日本大震災被災地域の小中学校への寄贈企画に応募、当選。9万円分の選書をする。背ラベルを作成。
- ・購入図書の選書支援3回目「四字熟語・ことわざ」
- ・秋の読書祭りで景品にする葉の図案を文化総合部に依頼。
部活の時間に図書室で製作していた。(写真7)



写真6 本を手に取りたくなるようにレイアウト。

「歴史・時代小説特集コーナー」

7月

- ・図書委員作成の図書便り第2号発行。
- ・バーコードの貼り付け作業開始。お昼休みに図書委員が、部活の時間に文化総合部の生徒が進めることになる。作業は図書室で行うため、手順や注意事項を紙に書いて、図書室のカウンター横の柱に貼り出した。(写真8、9、10、11)



写真7 文化総合部のみんなで景品にする葉を考案

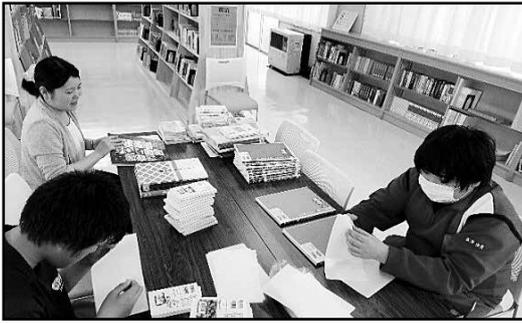


写真8 図書委員や文化総合部がバーコードの貼り付け作業を行った

- ・夏休みに入る直前に、東京杉並ロータリークラブからの寄贈図書（496冊）が届いたため、図書委員と一緒に開梱作業をした。
- ・夏休みに入ってから全国学校図書館協議会の寄贈図書（72冊）が届く。杉並ロータリークラブの寄贈図書とともに納品チェックをし、装備が終わったものから電算システムへの登録作業を始めた。
- ・背ラベルに注目してもらおうための工夫として、マンガ風にイラストを描いてブックエンドや本棚に貼った。（写真12、13）
- ・図書委員による図書室利用マナーのポスターを図書室に掲示。



写真12、13 イラストを使った案内表示

8月

- ・寄贈本の装備、登録。
- ・図書室のCDの貸出の利用が少ないため、図書室内で音楽をかけることを学校に提案したところ、当面は学校図書館支援員が来ているときのみ音楽をかけることとなった。
- ・先生向け図書便り第3号作成、発行。

9月

- ・企画「本と音楽」設置。資料数28点。
- ・9月1日までに寄贈図書の装備と電算システムへの登録が終了。9月8日に杉並ロータリークラブの贈呈式が行われた。
- ・蔵書の電算システムへの登録作業を開始する。
- ・図書委員作成の図書便り第3号発行。

10月

- ・先生向け図書便り第4号作成。
- ・読書祭り準備。概要を作成して先生方へ回覧。読書祭り案内、ポスター、飾りの作成。図書委員による「すてきな表紙大賞」エントリー作品選出。
- ・図書委員が本の紹介ポップを作成。コルクボードにレイアウトして図書室内に掲示する。

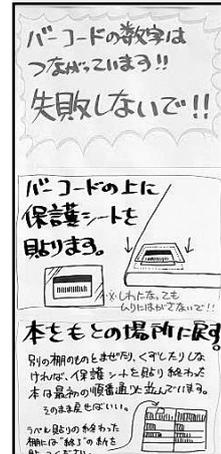


写真9、10、11 貼り出した作業手順

11月

- ・企画「ミステリ小説特集」設置。資料数31点。
- ・読書祭り開催

【読書祭り概要】

1、スタンプラリー

本を読む、本のオススメコメントを書く、図書室クイズに答える、のいずれかによりスタンプがもらえ、10個たまると景品に応募できる。景品は主に図書室で購読している雑誌の付録を充てた。
応募総数：16（10名）

景品の抽選を校長先生、教頭先生にお願いした。景品は即日配付した。

文化総合部にしおりのデザインを依頼し、読書祭り期間中に本を借りた生徒へ配った。

2、すてきな表紙大賞2017

大賞『夜宵（やよい）』柴村仁著／講談社BOX 3票

選んだ理由「ふしぎさがでている。おくゆきや、くらいのがいい」など。

その他4作品に得票。合計投票数8票。

3、放送ジャック

11月中の火曜日のお昼に「図書室ラジオ」を放送する。合計4回放送。

2回目の放送では図書委員によるおすすめ本の紹介を行った。

4、前月比

	10月	11月	前月比
貸出冊数	37冊	136冊	368%
来室者数（のべ）	107人	252人	236%

5、読書祭り写真（写真14、15、16、17）



写真14

読書祭り期間中の図書室入口の様子



写真15

景品はコルクボードに貼って掲示した



写真16

挑戦しやすいよう図書室クイズは
テーブルを使って展開した



写真17

「すてきな表紙大賞2017」では
20冊の候補から投票してもらった

- ・企画「おいしいお話」開始。資料数21点。
- ・図書委員作成の図書便り第4号発行。
- ・学校のホームページの記事を更新。

12月

- ・図書便り号外を作成。
- ・企画「冬本」設置。資料数20点。
- ・雑用品を収納する棚が搬入。背面を通路に向け、コルクボードをさげて掲示板にした。(写真18, 19)
- ・生徒向けの読書祭りのまとめを模造紙に作成する。
- ・冬休みの長期貸出の受付。
- ・1月の企画「本おみくじ」準備。
- ・12月までに、夏の寄贈図書、小説・文学(9類)、絵本の電算システムへの登録作業が終了。ほかの分類は登録中だが、1月中旬に図書委員へ電算システムでの貸出・返却方法を説明して、2月から運用開始する。

写真18、19
棚背面にコルク
ボードをさげて
掲示板に活用



5 中央図書館からのサポート内容

- ・図書の発注処理

6 学校図書館利用実績

(1) 年間貸出点数

① 個人貸出点数

(単位：点)

	1年	2年 (支援学級含む)	3年	先生	総合計
年間合計	238	257	94	92	681
一人あたり	18.3	10.3	3.4	-	10.3
一人あたりの 昨年度比	153%	240%	425%	-	210%

②学級文庫・ほけんしつ文庫年間貸出点数

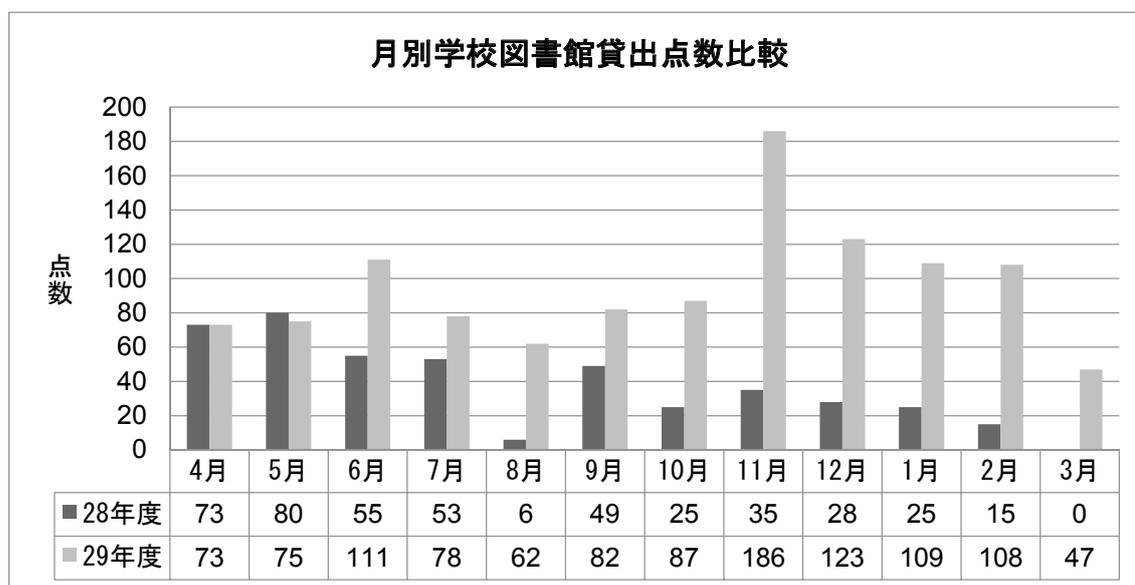
(単位：点)

	1年 (1クラス)	2年 (2クラス)	3年 (1クラス)	ほけんしつ 文庫	総合計
学年合計	100	150	90	120	460

※ひとクラスにつき毎月10冊(ほけんしつ文庫は20冊)ずつ入れ替えるように決めている。
5月・8月・1月・3月は長期休業の前後のため入れ替えをしない。

(2) 学校図書館貸出実績比較

表 月別貸出点数の比較



7 本年度の成果及び来年度のに向けた課題

(1) 本年度の成果

- 成果1 1学期の初めに全学年に対してオリエンテーションを行うことができたため、図書室の利用に関して大きな混乱は見られなかった。
- 成果2 図書室の外、教室棟の学習室の廊下の掲示板を図書室のお知らせ専用にしたため、生徒の目につきやすいところに掲示物を設置することができた。先生向けの図書便りを定期的に作成した。
- 成果3 生徒、先生の協力を得て、バーコードラベルの添付などの下準備を進めることができた。すべての資料の登録を終わらせることはできなかったが、利用の多い小説文学関係（9類）の登録ができた。

(2) 来年度に向けた課題

- 課題1 生徒が足を運ぶ取組の強化が必要である。クイズやスタンプラリーなどを盛り込んだ参加型のイベントを増やす。
- 課題2 図書室の企画や新着図書の案内などを周知し、全生徒・教職員に向けた情報の発信を行う。
- 課題3 電算システムの本格導入。